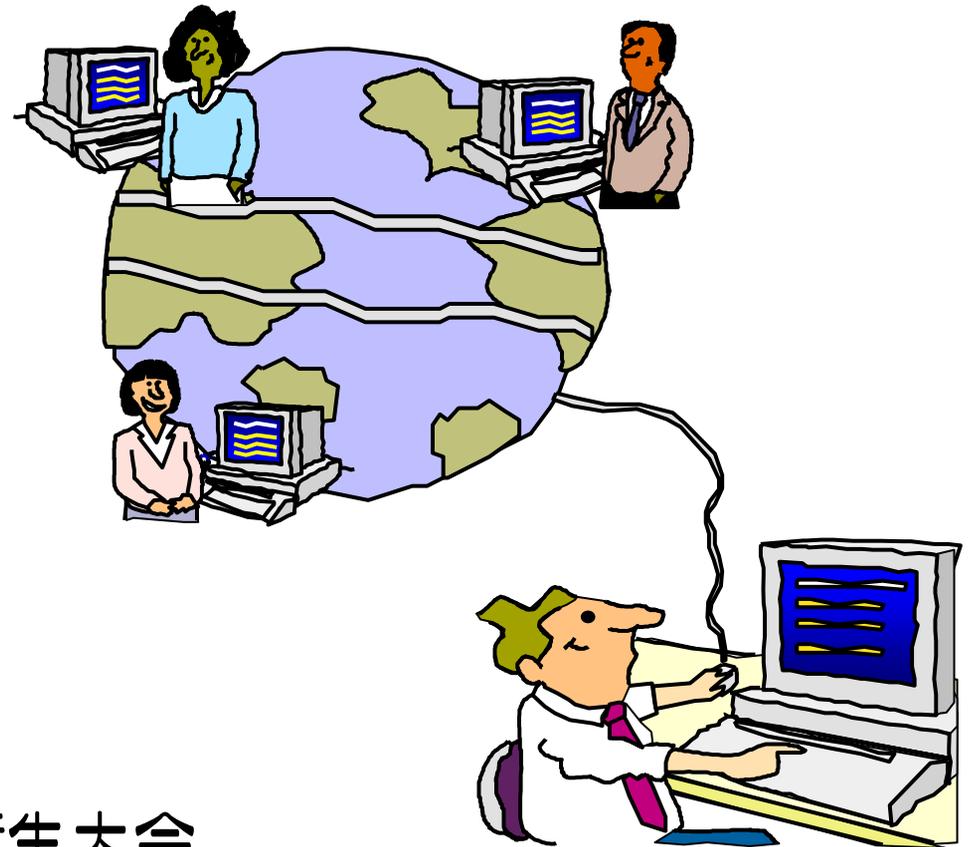


# Being Digital

ウェブ化する現実とおぼんの世界



2008年6月12日

日比谷総合設備(株)

日比谷札幌協力会

安全衛生大会

私は約10年前に  
インターネット  
に出会いました

# インターネットの精神文化

自発性（ボランティア）

草の根（グラスルーツ）

開放系（オープン）

建設業界にいた  
私には、それは  
夢のようなものでした

おぼんのような世界の外に

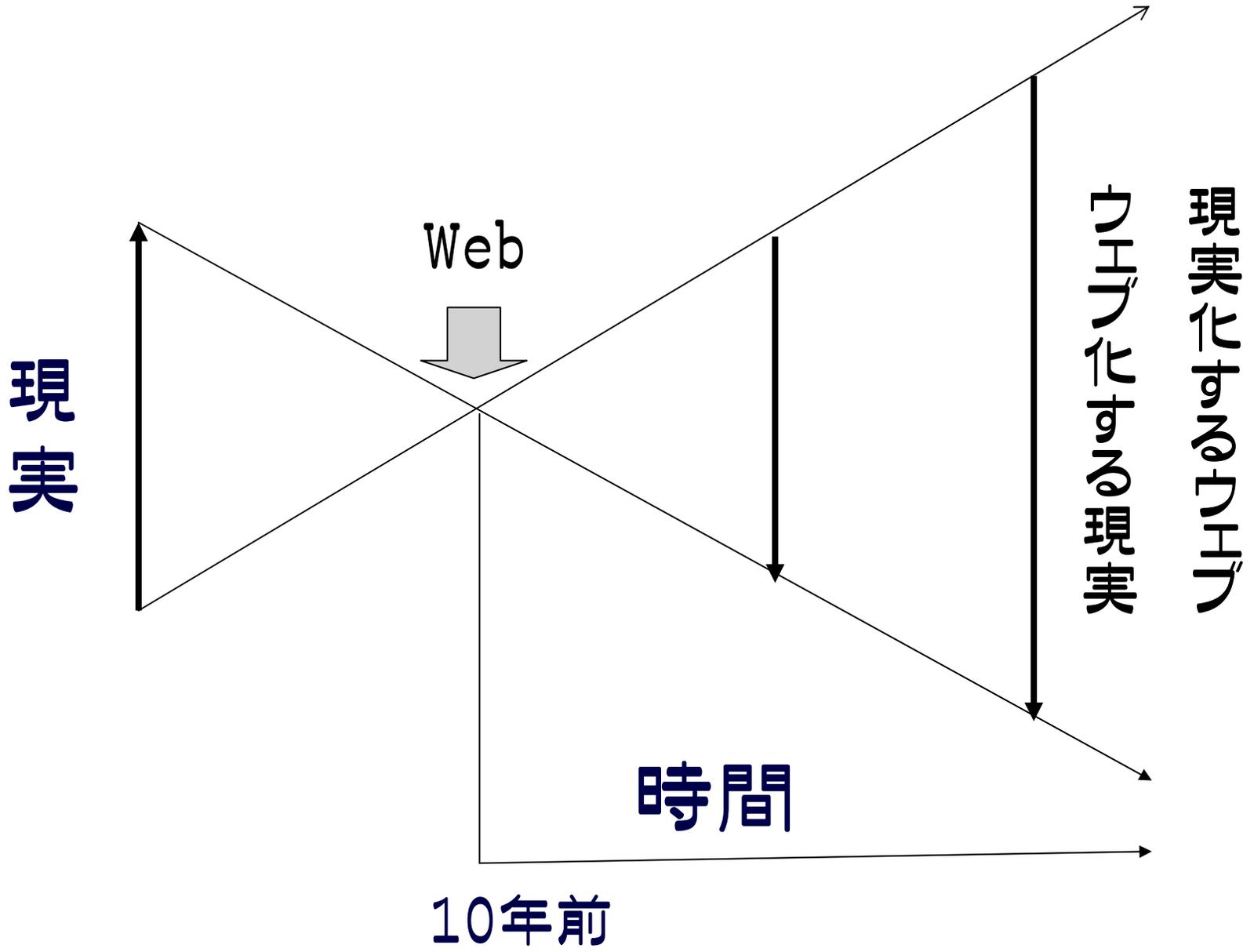
momo



インターネット

それから10年が  
過ぎました

# ウェブ化する現実



そんな時代（環境）が  
我々に  
要求していること

2007年の漢字

偽

耐震偽装・ミートホープ・  
白い恋人たち  
赤福・船場吉兆  
and etc.

何人も家卑の前で  
は英雄足りえず

情報の非対称性

という

壁が

壊れつつある

〈目的／目標〉  
のの違い  
が理解できていない  
不幸

企業の目的は  
お金の儲けである  
は正しいのか

お金儲けは

目標であって

目的ではない

# P・F・ドラッカー

企業の目的は  
顧客の創造である

私達は  
長い間、目的がなくとも  
なんとかかなる時代に  
生きてきました

# おぼんのような世界

momo



理念なき  
人には  
目的がない

自分のない  
人には  
目的がない

今と言う時代  
理念なき  
人には  
生き辛い時代

# Web 2.0

現実化するWeb / Web化する現実

あれば便利だな  
と思うものがウェブにある  
それも無料で

無料糸経

済

# Google

## の時価総額

- トヨタ: 19兆円
- 三菱UFJ: 11兆円
- 任天堂: 8兆円

それは如何にして  
可能なのか

# 限定経済学(今までの経済学)

## 〈贈与／交換〉

社会的交換  
(贈与)



経済的交換  
(交換)

# 贈与の原理

贈り物はモノではない。モノを媒介にして、人と人との間を人格的ななにかが移動しているようである。

相互信頼の気持ちを表現するかのよう、お返しは適当な間隔をおいておこなわれなければならない。

モノを媒介にして、不確定で決定不能な価値が動いている。そこに交換価値の思考が入り込んでくるのを、デリケートに排除することによって、贈与ははじめて可能になる。

# 交換の原理

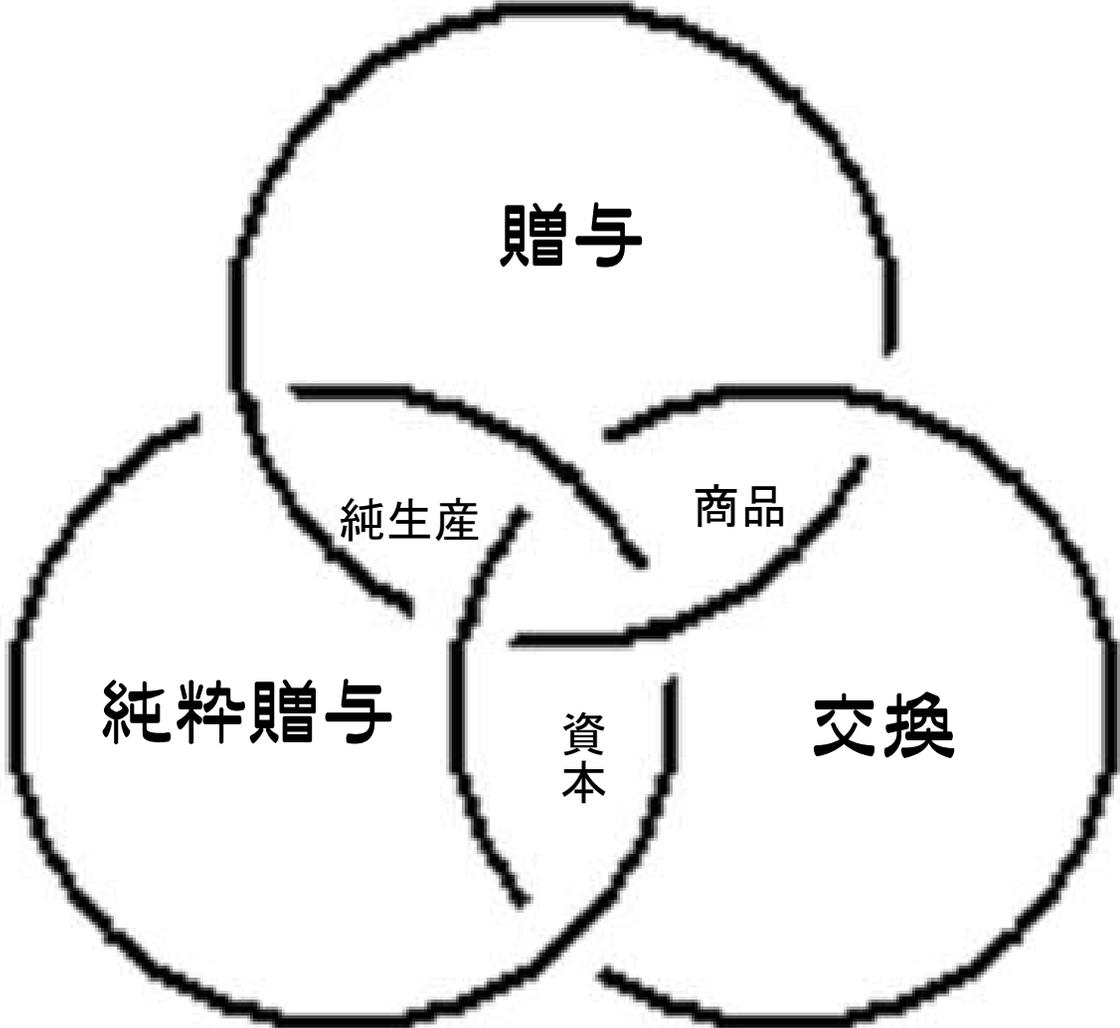
商品はモノである。つまり、そこにはそれをつくった人や前に所有していた人の人格や感情などは、含まれていないのが原則である。

ほぼ同じ価値をもつとみなされるモノ同士が、交換される。商品の売り手は、自分が相手に手渡したモノの価値を承知していて、それを買った人から相当な価値がこちらに戻ってくることを、当然のこととしている。

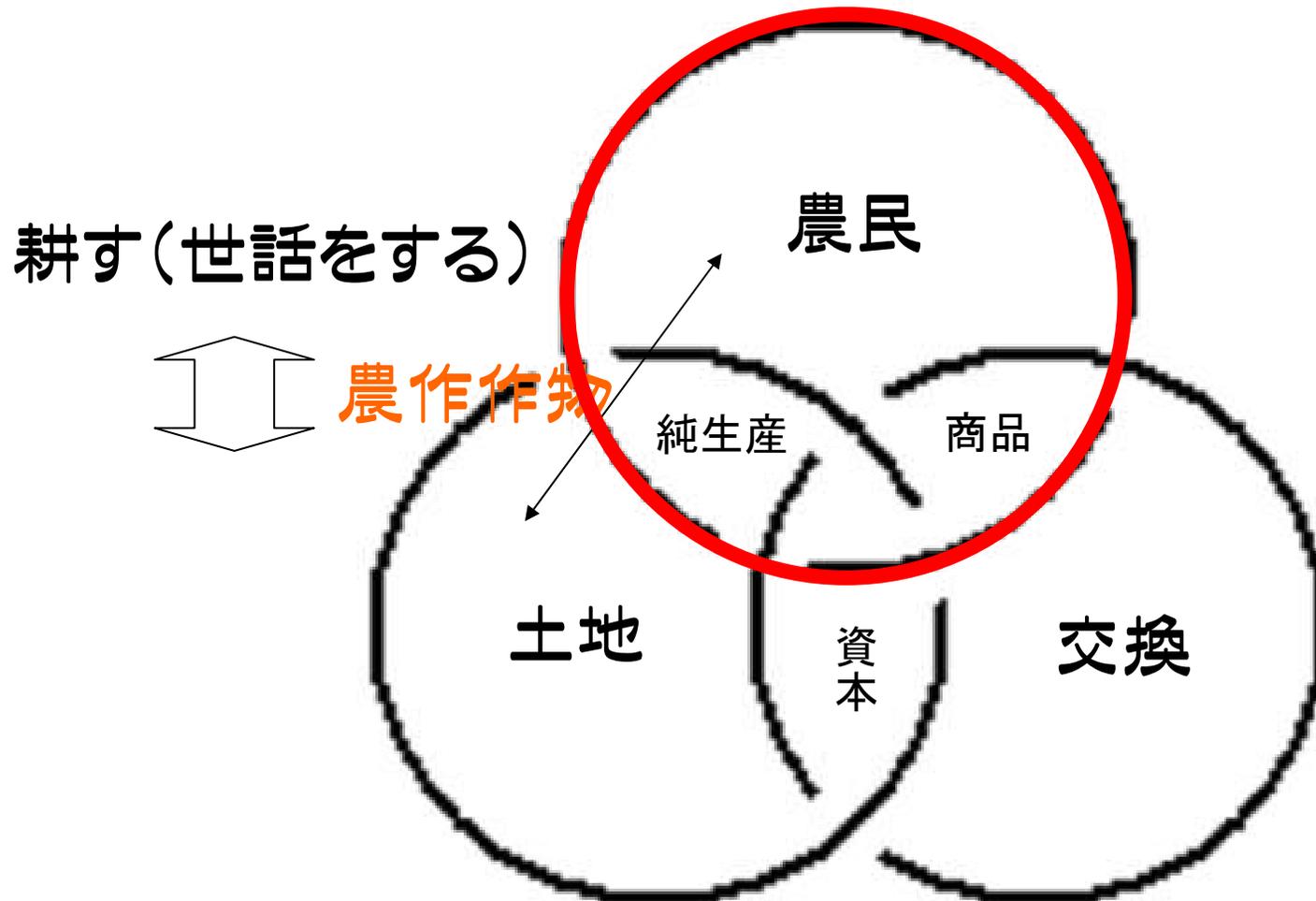
モノの価値は確定的であろうとつとめている。その価値は計算可能なものに設定されているのでなければならぬ。

Googleは  
〈贈与／交換〉の  
バイナリーコード  
(今までの経済学)  
では  
とらえきれません

# 普遍経済学



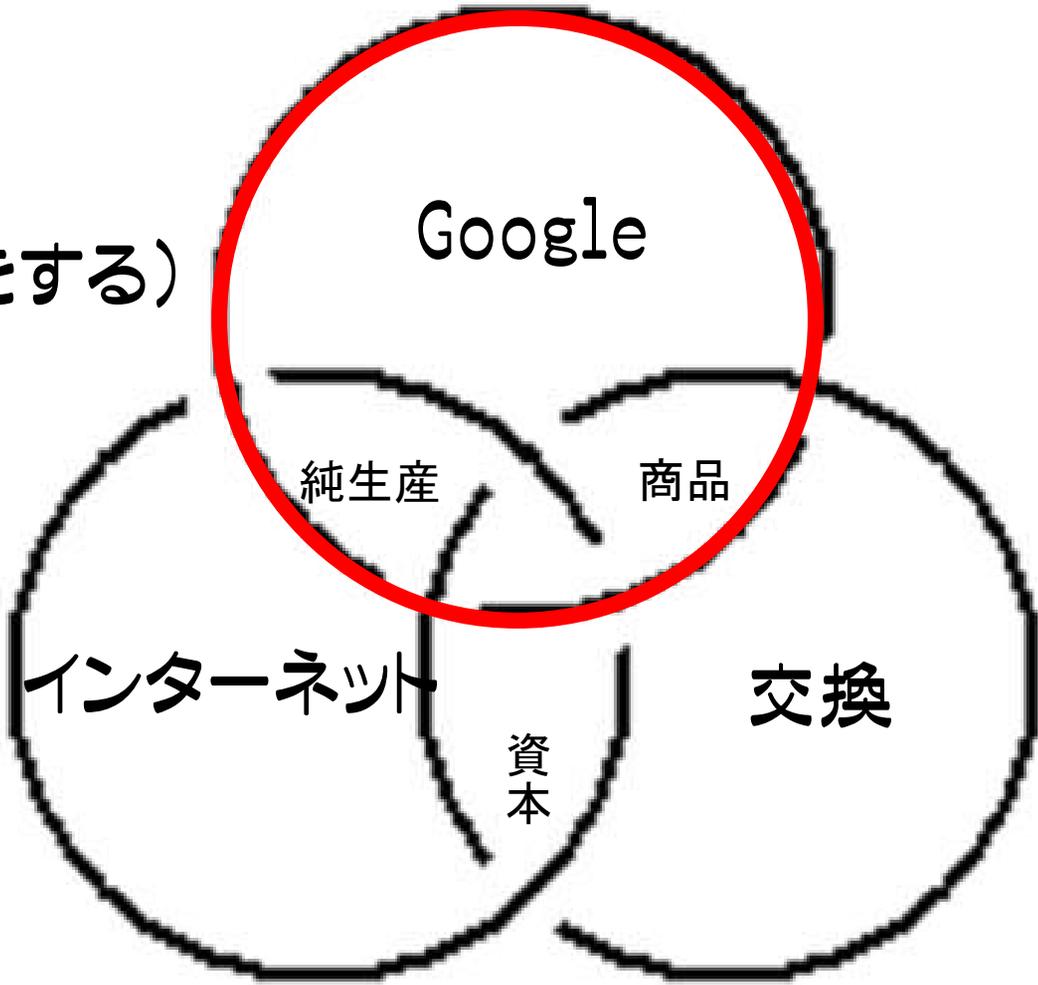
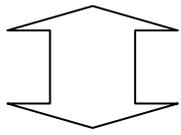
# 普遍経済学—農業の三位一体モデル



交換は後から接続されることで  
純生産が商品に転換する。

# Googleのモデル

耕す(世話をする)



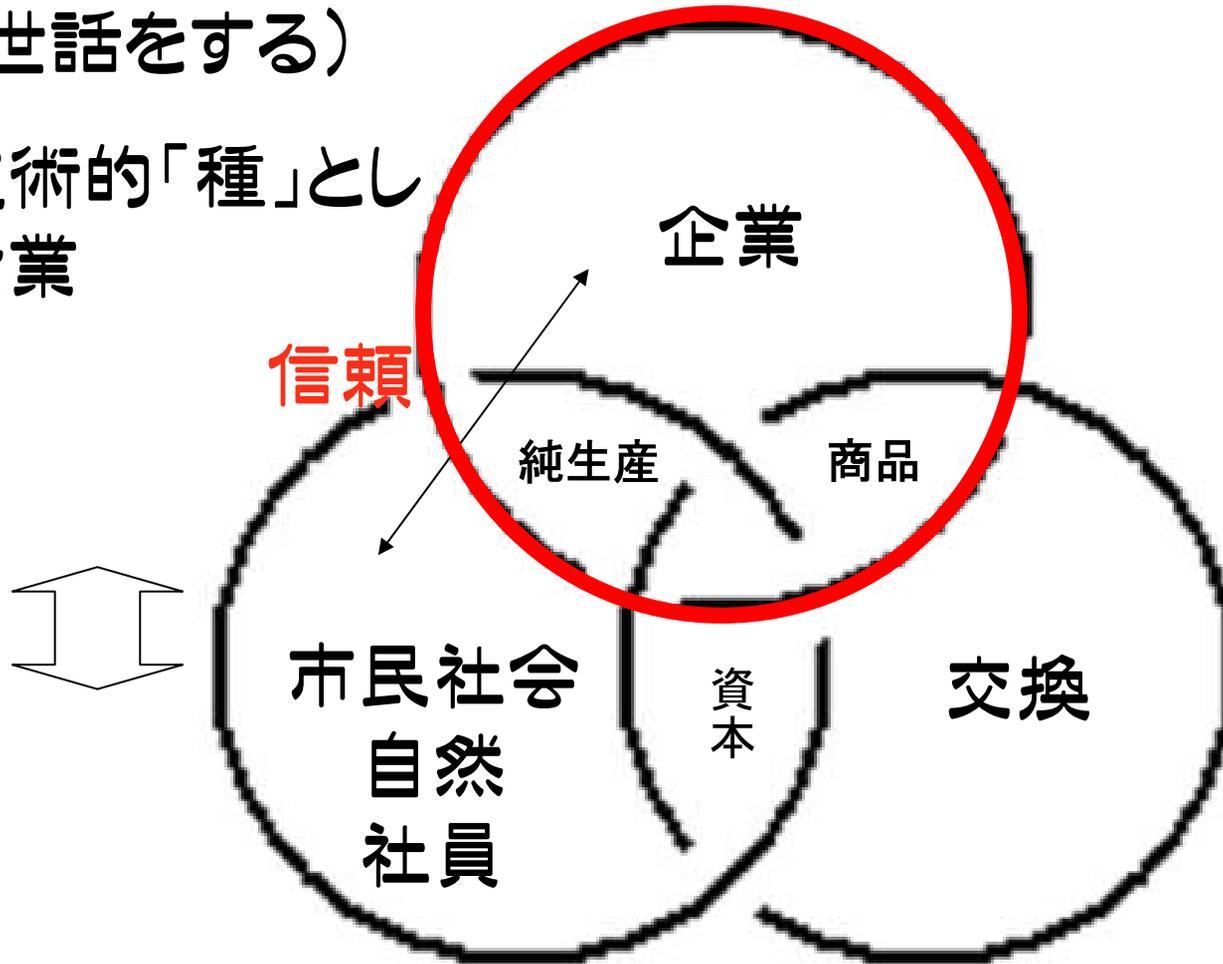
# Googleの目的

# 企業の 目的

# 企業の三位一体モデル

耕す(世話をする)

その技術的「種」としての企業



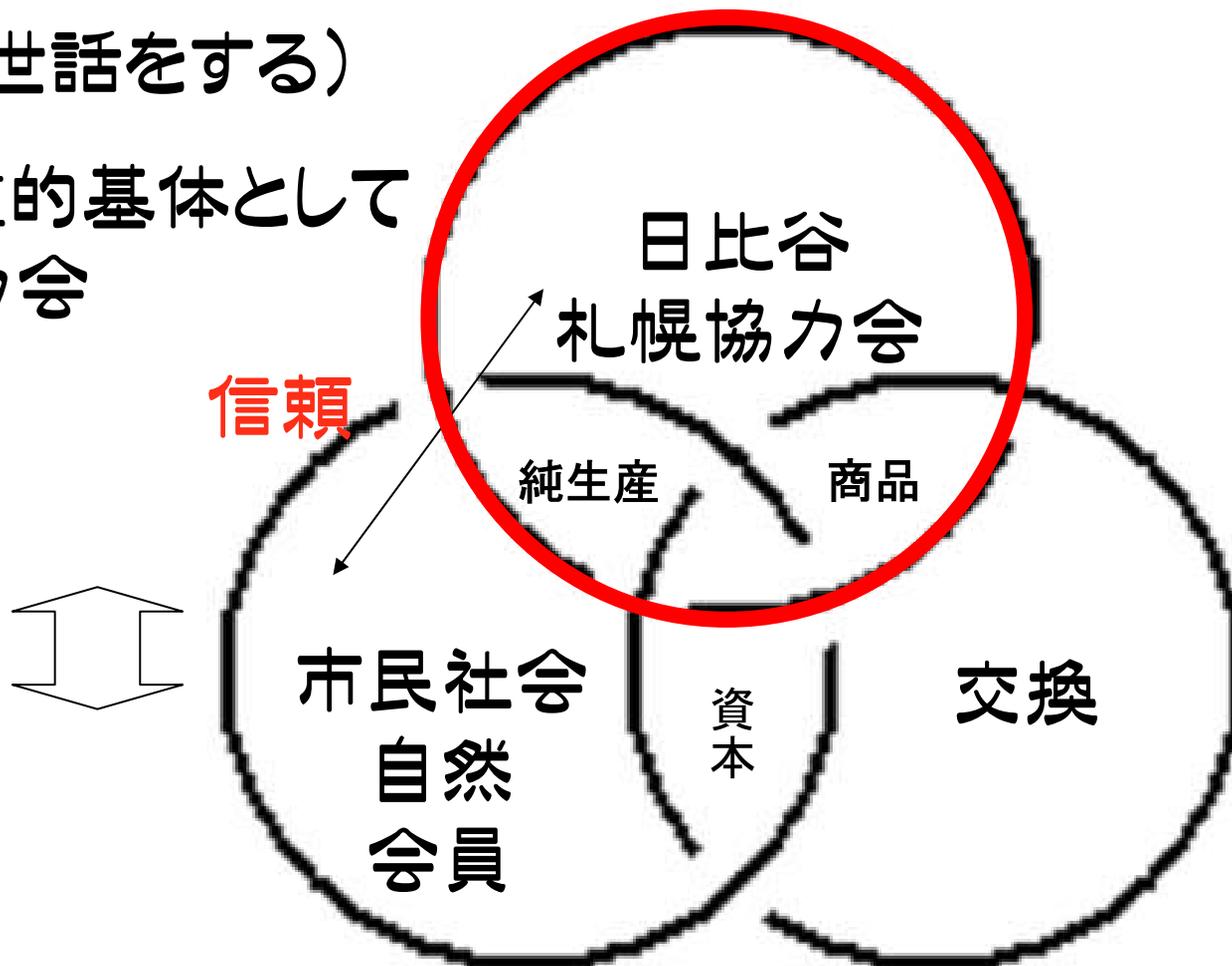
交換は後から接続されることで  
純生産が商品に転換する

# 日比谷札幌協会の三位一体モデル

momo

耕す(世話をする)

その種的基体としての  
の協会



交換は後から接続されることで  
純生産が商品に転換する

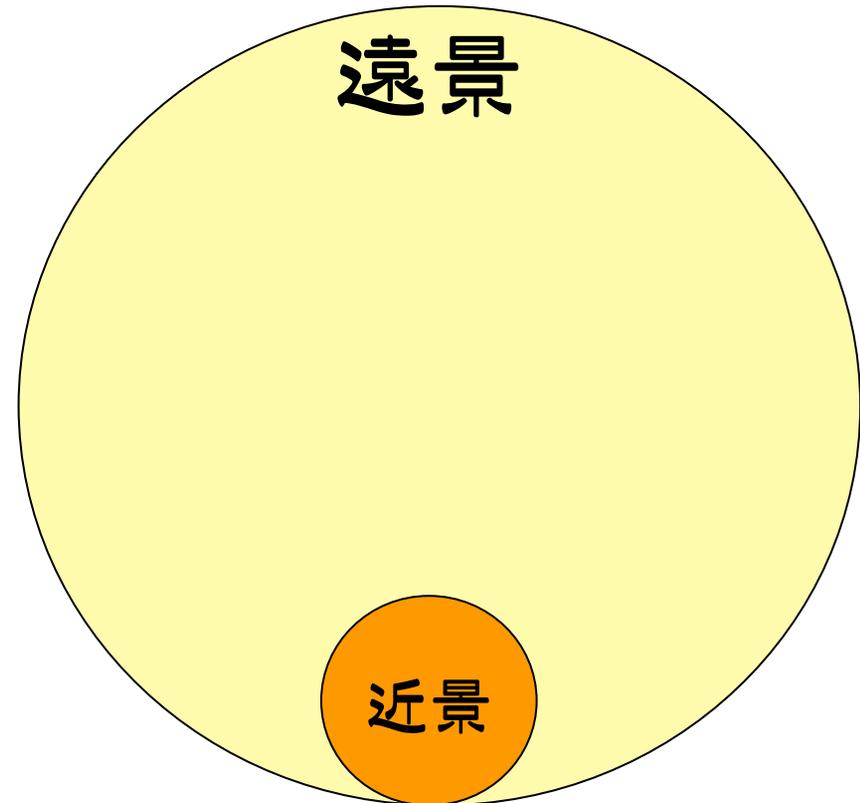
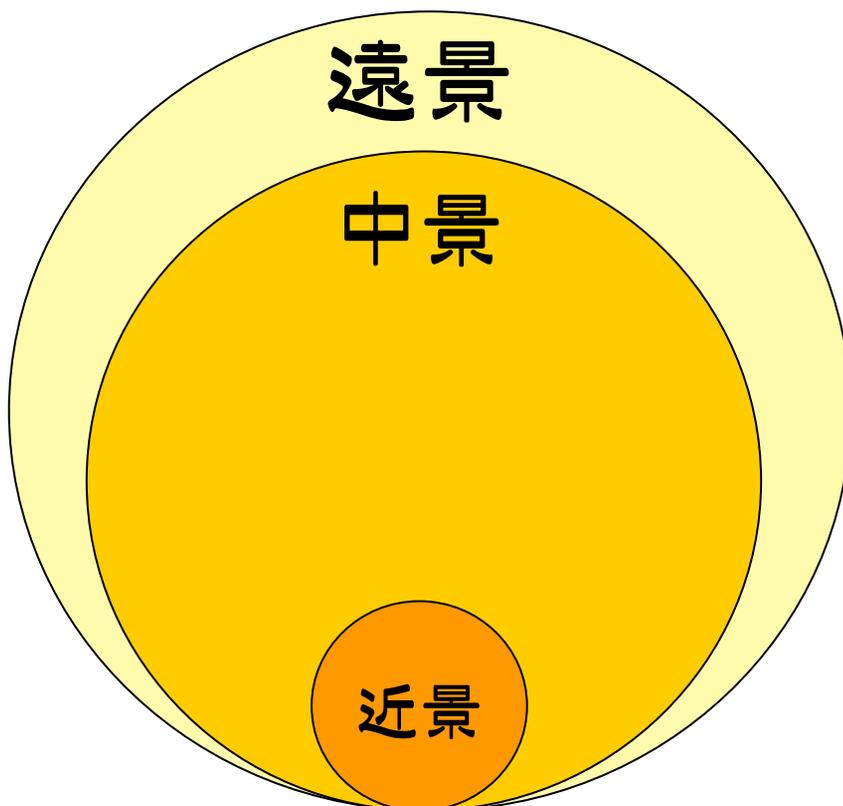
# その裏付けとしての 技術と品質

その技術を自らのものとするための贈与共同体

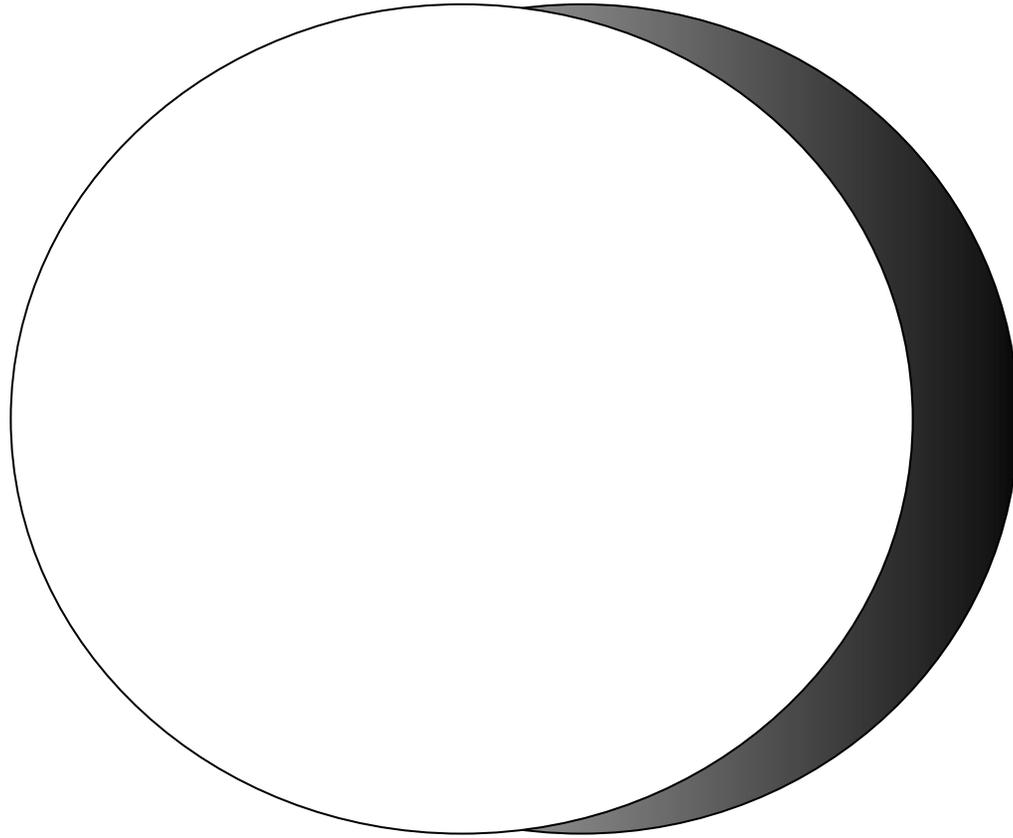
地域社会・学校・企業・事業者  
団体・家庭

# 中景の喪失

劇作家の別役実氏は 皮膚感覚でお互いに感じ取れる距離については「近景」  
家族や地域社会といった共同体的な対人距離で構成される「中景」  
神秘的なものや占いを信じるような態度は「遠景」につながり  
そしていまや 近景と遠景を媒介するはずの「中景」が抜けてしまつて  
近景と遠景がネットワークを通じていきなり接続されると言います



# 灰色の喪失



「人生は黒か白かだけでなく、  
黒と白の間にある灰色の部分に面白さがある」  
池波正太郎

# Web 2.0

は(喪失した)贈与共同体  
を浮かび上がらせる。

# 贈与共同体の欠点



おぼんのような世界

「なんだかわからないもの」

閉じから開放へ

# メビウスの帯



クラスターを強くする  
＝自らひねる



自ら  
情報を発信すること。

# ももちどっとこむ

ご清聴ありがとうございました。

桃知 利男



E-mail [pinkhip@gmail.com](mailto:pinkhip@gmail.com)

URL <http://www.momoti.com/>

ご面倒でも私宛の連絡はメールでお願いいたします。